



2026年8月25日

古代オリエント博物館 / 株式会社サンシャインシティ

石見銀山発見500年・世界遺産登録20周年

古代オリエント博物館 2026年度 秋の特別展

古代オリエントから石見銀山へ -銀が動かす世界- 9月19日（土）～12月6日（日）開催

サンシャインシティ（東京・池袋）にある**古代オリエント博物館**（館長：津村 眞輝子）では、2027年に迎える石見銀山発見500年・世界遺産登録20周年の記念事業として、**秋の特別展「古代オリエントから石見銀山へ -銀が動かす世界-」を9月19日（土）～12月6日（日）に開催します。**

人類の歴史は、金属との出会いによって大きく動き出しました。金や銀はその美しさと輝きで人々を魅了し、やがて富と権力の象徴となりました。一方、銅や鉄は道具や武器として文明の発展を支えてきました。なかでも「銀」は、価値をはかる素材からコインへと発展し、さまざまな形で遠く離れた地域を結ぶ存在となりました。そして、大航海時代には、人々の経済活動になくてはならない存在となっていました。**そんな時代に大量の銀を生産したのが石見銀山（島根県大田市）です。**



2027年、石見銀山は発見500年・世界遺産登録20周年という大きな節目を迎えます。本展はその記念事業として、**東京・出雲（島根）・大田（島根）の3ヶ所で開催される記念展の1つに位置づけられます。**古代オリエントの装身具や銀製容器、多彩なコイン、そして石見銀山ゆかりの資料を通して、「銀」が人々と世界を結んできた歩みをたどります。**東京で初めて石見銀山を本格的に紹介するこの機会に、銀の魅力と歴史をぜひお楽しみください。**

開催概要

日時：9月19日（土）～12月6日（日） 10:00～17:00（最終入館16:30）
※10月18日（日）、11月20日（金）は20時まで開館します（最終入館19:30）
入館料：一般1,500円 大・高校生1,000円 中・小学生400円 ※団体割引・障害者割引あり
共催：古代オリエント博物館・石見銀山発見500年島根県記念事業実行委員会
後援：外務省、文化庁、豊島区、豊島区教育委員会 / 特別協力：サンシャインシティ



ウェブページ：https://aom-tokyo.com/exhibition/20260919_silver.html

関係者コメント



古代オリエント博物館館長 津村 眞輝子（つむら まさこ）

「古代オリエントから石見銀山へ」というタイトルの通り、前半は人類と金属との出会いから、古代オリエントやシルクロードの美しい銀製品、ギリシア、ペルシア、ローマの銀貨などを通して、銀の魅力と世界を動かしてきた歴史をたどります。そして後半は石見銀山へ。世界の銀の歴史を知ること、その世界史的な重要性も見えてきます。銀好き、歴史好き、古銭好き、美術・工芸好き、それぞれの視点で楽しみながら、新しい発見にも出会える特別展です。



島根県教育庁文化財課世界遺産室 田原 淳史（たばら あつし）

来年2027年は石見銀山が発見されてから500年、そして世界遺産に登録されてから20周年という記念すべき年です。本特別展ではこれを記念し、人間と銀との関わりを紐解きながら、多量の銀を生産し世界の経済や文化に大きな影響を与えた石見銀山について紹介しています。東京でまとめた石見銀山関係の資料を展示するのは初めてですので、是非ご覧ください。

※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。 ※画像はイメージです。 ※金額はすべて税込です。



展示内容

第1章 人間と金属の出会い

人類が金属（金・銀・銅・鉄）と出会い、利用し始めた過程とそれぞれの役割について紹介します。



金製装身具（個人蔵）
当時の高度な金工技術と
支配の権威を示している。

第3章 貨幣としての銀

価値を示す素材としての役割から、コインの誕生を経て、交易を支え、経済や文化を動かしてきた銀の役割について紹介します。コインの歴史、ギリシア・ローマ・ペルシア・シルクロードの銀貨、そしてコインにまつわる研究などを紹介します。



クレオパトラ7世銀貨（古代オリエント博物館蔵）
古代エジプト最後の女王クレオパトラ7世と、夫であり政治的同盟者でもあったローマの将軍アントニウスを表裏に刻んだ銀貨。

第2章 銀の造形

銀の美しさと輝きを装身具、容器、神像などにあらわしてきた利用の歩みと、それを支えた技術の発展を紹介します。



ネフェルテム神護符
(MIHO MUSEUM蔵)
古代エジプトの神、ネフェルテムの像。

第4章 銀の時代～大航海時代～

地球規模での交易が開始された大航海時代における銀の役割と、文化の変化について紹介します。



地球儀（南蛮文化館蔵）
漆塗りで仕上げられた地球儀。



ティセラ図
(石見銀山なかむら文庫蔵)
16世紀末にヨーロッパで作られた地図。
石見銀山が遠くヨーロッパにも知られていたことを示す。

第5章 石見銀山

銀の時代に大きな役割を果たした石見銀山について、銀生産の実態、鉱山社会などの視点から紹介します。



ごちようぎん ぶんくせいしゅうぎん ・ おとりおさめちようぎん ・ ごちようぎん
古丁銀 文禄石州銀・御取納丁銀・御公用丁銀
(島根県立古代出雲歴史博物館蔵)
3点とも石見銀山の銀によって製作されたと考えられ、毛利元就や豊臣秀吉と関係が深い品。



ぎんざんかせぎかたえまき
銀山稼方絵巻
(石見銀山なかむら文庫蔵)
石見銀山絵巻の1つ。採掘作業の様子などが色彩豊かに描かれている。

おわりに

石見銀山世界遺産登録にまつわる萩古丁銀や世界遺産登録認定証を展示。また石見銀山の情報発信・体験コーナーなどもあります。

音声ガイド/グッズ

特別展の音声ガイドは、古代オリエント博物館公式音声ガイド『はじまりの物語』、『朗読 ギルガメシュ叙事詩』、『朗読 エヌマ・エリシュ』など、当館の音声コンテンツでおなじみの声優・関智一さんが担当します。

本特別展の開催にあわせ、館内のミュージアムショップでは、展示資料全点を掲載した図録を販売いたします。

また、9月19日（土）は先着100名様に、「石見銀山ボールペン」をプレゼントします。



石見銀山ボールペン（イメージ）



関連イベント

● 対面講座 ※事前申込制

オリ博講演会「環黒海世界における銅・鉄の誕生」

氷河期が終わり新石器時代が始まってまもなく人類は中近東で鉱物資源や自然銅にてあひ、鉱石を溶かして金属を得る技術が発見されると、それが黒海の西海岸、東海岸へと広がりました。今回はその足跡を追跡します。

講 師：村上 恭通（愛媛大学先端研究院 アジア古代産業考古学研究センター 教授）

日 時：10月24日（土） 13:30～15:00

料 金：1,000円（友の会会員：500円）

※定員150名

石見銀山講座「東アジア金・銀伝説とスペイン・ポルトガル」

16世紀から17世紀にかけて東アジア海域におけるスペイン・ポルトガル・オランダなどの動きとその背景について、金・銀の視点から迫ります。

講 師：岡 美穂子（東京大学史料編纂所 教授）、李 毓中（国立清華大学 副教授）

日 時：11月3日（火・祝） 13:30～16:00

※定員150名、参加無料

石見銀山講座「代官 江戸から石見へ - 大久保長安と川崎平右衛門」

江戸時代の石見銀山はどのように支配されていたのでしょうか。石見銀山に大きな足跡を残した大久保長安と川崎平右衛門からその実像に迫ります。

講 師：仲野 義文（石見銀山資料館館長）

清水 佳那子（島根県教育庁文化財課世界遺産室）

日 時：11月15日（日） 13:30～16:00

※定員150名、参加無料



復元された前期青銅器時代の隕鉄製鉄器



アジア図（石見銀山なかむら文庫蔵）



代官所跡

● オンライン講座 ※事前申込制

秋の特別展オンライン講座「古代西アジアの金銀銅」

本特別展に展示している資料を中心に金、銀、銅それぞれの金属の歴史や制作技法などを紹介します。

講 師：津本 英利（古代オリエント博物館研究部長）、津村 眞輝子（古代オリエント博物館館長）

配 信：9月30日（水）※12月13日（日）まで視聴可能

料 金：500円

月いち！オリ博オンライン講座

月に一度、原則として第3週水曜日に配信する「月いち！オリ博オンライン講座」。10月・11月の開催分は本特別展にあわせて、以下のテーマで開催します。

10月「石見銀山の高品位銀鉱石の実態に迫る」

講 師：石橋 隆（地球科学社会教育機構理事長）

配 信：10月21日（水）

料 金：500円



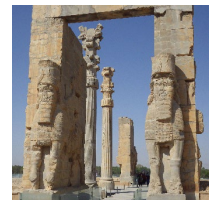
石見銀山で江戸時代に採掘された銀鉱石「福石」
（石見銀山資料館蔵）

11月「アケメネス朝ペルシアの考古学」

講 師：有松 唯（広島大学准教授）

配 信：11月18日（水）

料 金：500円



アケメネス朝ペルシアの首都
ペルセポリスのケセルセクス門（イラン）※講師撮影

オリ博オンライン連携講座「コインが語る古代オリエント」

講 師：津村 眞輝子（古代オリエント博物館館長）

配 信：10月14日（水）から1月までの第2水曜日の4回

料 金：一般4回分2,000円（友の会会員無料）



●小・中学生対象 子供のオリ博体験講座「コインづくりのひみつ」

古代のコインについて学びながら、自分の好きな模様で打刻型をつくって、コインづくりを体験します。

日 時：10月4日（日）13:30～15:30

料 金：500円 ※別途入館料が必要です



コインづくり体験（イメージ）

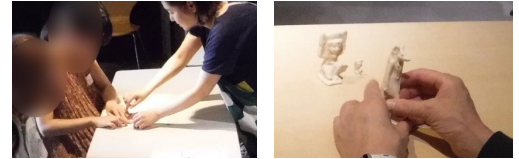
●視覚障害者のための展示解説ツアー

目の見えない方、見えにくい方に向けた展示解説ツアーです。

日 時：11月21日（土）11:00～、13:30～（内容は同じです）

※1時間程度

料 金：無料（入館料のみで参加可能）



視覚障害者のための展示解説ツアー（イメージ）

●製作ワークショップ「^{つちめ}叩いて作ろう！ 錠目（※）と刻印の世界に一つのシルバーペンダント」※事前申込制

表は好きなアルファベット（大文字）と数字で名前やメッセージ等を刻印（20字程）して、裏は叩いた模様（錠目）で貴方だけのシルバーペンダントを作ります。（直径2.5cmほど。眼鏡ホルダーにもなります。）

講 師：渡部 流線（豊島区伝統工芸士）

日 時：10月12日（月・祝）11:00～12:00 / 13:30～14:30 / 15:00～16:00

料 金：10,000円 ※別途入館料が必要です

場 所：古代オリエント博物館内



シルバーペンダント（イメージ）

※錠目…小槌で金属を繰り返したくことで表面に模様を施す伝統技法

●ギャラリートーク

特別展の見どころを、担当研究員が解説します。

日時については、ウェブページをご覧ください。

料 金：無料（入館料のみで参加可能）



ギャラリートーク（イメージ）

※事前申込制イベントの申込方法や各イベントの料金等詳細情報は[ウェブページ](#)をご覧ください。

●サンシャインシティ噴水広場イベント「まるっといわみフェス」

石見銀山をはじめ島根県の魅力をPRするイベントを開催。大阪・関西万博でも披露された石見神楽公演、特別展の音声ガイドを担当する関智一さんの登壇イベントのほか、島根県観光キャラクターの「しまねっこ」も来場予定！

日 時：10月18日（日） 11:00～19:00

場 所：サンシャインシティ 噴水広場（専門店街アルパ B1）

共 催：島根県教育委員会、古代オリエント博物館



サンシャインシティ 噴水広場

■古代オリエント博物館 概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ 文化会館ビル7階

営業時間：10:00～17:00（最終入場は16:30）

特徴：文明発祥の地といわれる西アジア・エジプト地域の古代文明を紹介する目的で、1978年、我が国最初の古代オリエント地域専門の博物館として開館。西アジア、エジプト地域を中心として、旧石器時代からササニ朝時代までの資料約5,000点、及びシリア出土品を多数収蔵する。

問合せ先：古代オリエント博物館 03-3989-3491 <https://aom-tokyo.com/>

※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。 ※画像はイメージです。 ※金額はすべて税込です。